浜郷小だより

茅ヶ崎市立浜之郷小学校
2022年12月1日
12月号
校長　木村 千裕

学校教育目標　　～支えあう・聴きあう・学びあう～

子どもたちが自分を再発見し、友だちを再発見し、学ぶことの価値と意味を再発見して「人生最高の６年間」を生み出す学校、そして、その営みを通して教師も親もともに育ちあう学びの共同体としての学校でありたい。

街中で煌びやかなイルミネーションを目にする季節になりました。いよいよ今年も残すところあと１か月です。さて、１１月２５日の教育研究発表会では、全国各地から参加者の方がお見えになりましたが、その参加者の方たちを歓迎してくれたのが、校舎内の様々な場所に飾られた６年生の作品です。１組さんは、玄関にある下駄箱の中をのぞくと海中の魚や星座が見える仕掛け（絵）と特別教室が並ぶ廊下の先に海を表現したり、海で楽しむ人たちをピクトグラムで表現したりしました。２組さんは各教室の案内表示を廊下に貼り、行き先をたくさんの足跡を使って表現したり、様々な場所に季節をイメージした飾りつけや校章のポスターを貼ったりしました。３組さんは、階段の蹴込板に浜之郷小学校の校歌の歌詞を一文字一文字貼ったり、下から見ると校章が浮き出るようにしたりしました。また、階段の壁に浜之郷小学校の歴史紹介や校章にちなんだ飾りつけをしました。「学校へようこそ」というテーマでの取組でしたが、参加者の方々にとって心が和む、素敵な歓迎となりました。

１２月１２日からは希望制の個人面談が予定されています。コロナ禍になり保護者の方と担任が直接顔を合わせてお話をする機会がとても少なくなりました。個人面談では、学校でのお子様の様子をお伝えしたり、ご家庭でお子様の様子を伺ったりしながら、お子様の良さや頑張りなどを共有したいと思っていますのでどうぞよろしくお願いします。

２０２２年（令和４年）を締めくくるにあたり、来年が穏やかな年になりますことを願い、皆様にとって素晴らしい新年になりますようにお祈りいたします。

１１月２６日（土）に、推進協主催の「郷の子フェスティバル」が３年振りに開催されました。当日はあいにくの雨にもかかわらず、事前に申し込みをしていた１年生から６年生までの６３名が参加をしました。会場を体育館とランチルームの２か所に分け、入れ替え制でそれぞれの会場の催し物を楽しみました。体育館では「ベーゴマ」「けん玉」「めんこ」「お手玉」「おはじき」「折り紙」のコーナーが用意され、昔遊びを楽しみました。ランチルームでは、株式会社ULVAC（アルバック）の方による「真空の中で、目覚まし時計の音はどうなる」「空気に重さはあるか」などの真空実験が行われました。実験が進むごとに体が前のめりになる子どもたち姿が見られました。素敵な時間をつくっていただいた推進協とULVACの皆さん、ありがとうございました。